

H28年次 道路分野 選択科目Ⅱ
の概要及び計画・設計上の留意点を述べよ。

地すべり対策工には大別して抑制工と抑止工がある。抑制工と抑止工について対策工法を各々1つずつ挙げ、それぞれ
(1枚以内 横24×25 600*1 600字以内)

1、地すべり対策工の分類別特徴

(1) 抑制工 地形や地下水などの自然条件を変化させて地すべりを抑制するものである。地表水排除工、地下水排除工、地下水遮断工、排土工、押え盛土工、

5 河川構造物などがある。

(2) 抑止工 滑ろうとする土塊に抵抗力を加えて地すべりを抑止するものである。アンカー工、鋼管杭工、シャフト工等がある。

2、分類別の工法例

10 (1) 抑制工（横ボーリング工）

地下水を排除するものである。横向きボーリングを行い地下水を排除し、すべり面に働く間隙水圧の低減や地すべり土塊の含水比を低下させ、抑制するものである。留意点として、設計に際しては、周辺の地形・

15 地質及び地下水調査等から、最も効果的に集水できるボーリングの位置、本数、方向及び延長を決定する必要がある。

(2) 抑止工（アンカー工）

鋼材で地すべりを抑止するものである。基盤内に定着させた鋼材の引張強さを利用して、地すべり滑動力に対抗し、反力構造物と地山が一体化して地すべりを抑止する。留意点として、構造物により安定化を確保することから、維持管理が重要であり、耐久性に問題がある平成元年以前の旧タイプアンカー等の老朽化に

25 おいては、更新・追加等を行う必要がある。